

平成26年度のブナ結実調査結果について

東北森林管理局では、独立行政法人森林総合研究所東北支所の依頼により調査を開始し、その後ブナに関する長期にわたる調査は全国的にも例がなく貴重なデータとなり得ることから、ブナの開花及び種子の豊凶状況調査を実施して参りました。

平成26年度においても、管内（青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県）の144箇所の調査地点でブナの開花時での結実予測を去る7月31日に発表したところですが、今回143箇所の調査地点で結実の状況を調査したところ、下表のような結果が得られたので公表します。

今回の調査結果は、調査対象としている青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県全てで「皆無」となりました。

東北森林管理局では、来年度以降もブナの開花並びに結実の豊凶状況調査を継続して実施することとしています。

ブナ結実調査結果（県別内訳）

県名	開花及び結実状況（箇所数）					豊凶指数	上段：結実予測
	多	中	少	非開 花	計		下段：結実調査結果
青森県	3	12	14	9	38	1.7	凶作
	1	1	17	18	37	0.8	皆無
岩手県	0	0	6	18	24	0.3	皆無
	0	0	4	20	24	0.2	皆無
宮城県	0	2	2	2	6	1.3	凶作
	0	0	4	2	6	0.7	皆無
秋田県	1	5	21	27	54	0.8	皆無
	0	2	13	39	54	0.4	皆無
山形県	0	1	9	12	22	0.6	皆無
	0	0	5	17	22	0.2	皆無
計	4	20	52	68	144		
	1	3	43	96	143		

（道路決壊による調査不能箇所 結実予測:1箇所、結実結果:2箇所）

*上段が開花状況からの結実予測、下段が今回の結実調査結果

*調査結果は、東北森林管理局のホームページにも掲載しています。
(<http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/sidou/buna.html>)

林野庁 東北森林管理局 森林整備部 技術普及課
企画官（技術開発担当）笠井
Tel. 018-836-2023

(参考)

平成26年度のブナの開花時の結実予測と結実調査結果について

1 調査及び判定は、(独)森林総合研究所の専門家の指導を受けながら、以下により行っています。

【調査方法】 毎年度、145箇所(定点)において、開花状況(初夏)及び結実状況(秋)を調査します。

【ブナの開花状況の調査と結実予測】(7月31日に発表)

○初夏に、開花状況を目視調査します。以下の区分で行います。

多 ほとんどの木に開花が見られる : 結実は「豊作」と予測
中 約半数の木に開花が見られる : 結実は「並作」と予測
少 僅かな木にのみ一部に開花が見られる : 結実は「凶作」と予測
非開花 全く開花が見られない : 結実は「皆無」と予測

○結実について、各調査地点の開花状況を「豊作→5、並作→3、凶作→1、皆無→0」として集計し、加重平均値(豊凶指数)により豊凶を推測。

3.5以上 豊作
2 以上 3.5未満 並作
1 以上 2 未満 凶作
1 未満 皆無

【ブナの結実状況の調査と判定】(本日発表)

○秋に、結実状況を目視調査します。開花状況の調査と同様の手法で豊凶を判定しています。

多 ほとんどの木が結実 : 「豊作」
中 大径木を中心に約半数の木が結実 : 「並作」
少 僅かな木にのみ結実 : 「凶作」
非結実 全く結実していない : 「皆無」

○結実について、各調査地点の林分全体の結実割合を「豊作→5、並作→3、凶作→1、皆無→0」として集計し、加重平均値(豊凶指数)により豊凶を推測。

3.5以上 豊作
2 以上 3.5未満 並作
1 以上 2 未満 凶作
1 未満 皆無

2 最近3カ年の開花状況の調査・結実予測及び結実状況の調査と判定は、次のとおりとなっています。

県名	24年度		25年度		26年度	
	開花時	結実時	開花時	結実時	開花時	結実時
青森県	凶作(1.3)	皆無(0.4)	豊作(3.6)	並作(3.4)	凶作(1.7)	皆無(0.8)
岩手県	皆無(0.7)	皆無(0.04)	豊作(4.0)	豊作(3.8)	皆無(0.3)	皆無(0.2)
宮城県	並作(2.8)	並作(2.2)	豊作(3.7)	豊作(5.0)	凶作(1.3)	皆無(0.7)
秋田県	皆無(0.9)	皆無(0.7)	豊作(3.6)	並作(2.9)	皆無(0.8)	皆無(0.4)
山形県	皆無(0.8)	皆無(0.2)	並作(2.3)	並作(2.3)	皆無(0.6)	皆無(0.2)